

事業所名

でいさーびす あいりんご3

支援プログラム (参考様式)

作成日

R7 年

3 月

15 日

法人 (事業所) 理念	<p>「楽しい・安心できる・使命感」をテーマに重点を置いています。                  まず、楽しい気持ちを持つためには、同じ目線に立って自分も一緒に楽しむ。                  次に安心できる気持ちを持つためには、もしも相手が自分の家族や友達だったらと思って接することです。                  最後に使命感は、「自分だから」「自分しかできない」という気持ちをもって行動する。</p>		
支援方針	<p>①年齢層の近い児童同士の交流の促進                  同年代の児童同士が自然にコミュニケーションや協力を行い                  集団活動や遊びを通じて一体感を生み出す事で、社会的なスキルを養います。                  これにより、児童間の関係が深まり、協力や共感を学びます。                  ②多様な障害に対応した活動内容の提供                  児童それぞれの障害の程度や特性に合わせた多様な活動内容を計画・実施します。                  すべての児童が安心して参加できるように配慮し、個々の発達に最適な活動を提供します。                  ③職員間でのフォローと個別サポート                  職員間での連携を強化し、個別にサポートが必要な児童に対してよりきめ細やかな支援を提供します。                  職員が協力し合いながら、児童一人ひとりに最適な支援を行い、安心できる支援体制を構築します。                  ④児童の安全を最優先にした外出対応                  外出時には、児童の安全を最優先に考え、職員配置を工夫します。                  児童一人ひとりの能力に応じて、適切な距離で付き添い、安全かつ円滑に活動を進めるために必要なサポートを提供します。                  ⑤保護者との連携強化                  保護者との定期的なコミュニケーションを通じて、家庭での様子や児童の成長に関するフィードバックを収集します。                  家庭と施設の支援が一貫していることを確認し、より良いサポートを提供するために連携を強化します。                  ⑥職員の研修とスキルアップ                  職員の専門的なスキルを向上させるために、定期的な研修を実施します。                  研修内容には、障害理解やサポート技術、異年齢交流、個別サポートに関する技術を含め、                  児童一人ひとりに最適な支援ができるよう職員の専門性を高めます</p> <p>◎この支援方針に基づき、児童一人ひとりの成長を支援し、児童が安心して活動できる環境を提供します。                  各支援活動は、常に児童のニーズを最優先に考え、柔軟かつ丁寧な対応を行っていきます</p>		
営業時間	9 時 0 分から 18 時 0 分まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
支 援 内 容			
健康・生活	<p>デイサービスをただの支援の場にとどめず、安心できる「第2の家」として感じてもらえるよう、温かみのある家庭的な環境を大切にします。子どもたちが自分のペースで成長できる、安心安全、居心地のよい場所を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身支度の習慣づけ (衣服の着脱、靴の脱ぎ履き、整理整頓など)</li> <li>・食事のサポート (スプーンや箸の使い方、食事のマナー、好き嫌いの克服)</li> <li>・排泄のサポート (トイレの使い方、手洗い習慣)</li> <li>・挨拶や会話の練習 (「おはよう」「ありがとう」などの基本的なコミュニケーション)</li> <li>・ルールや順番を守る活動 (遊びや活動を通して学ぶ)</li> <li>・自己表現のサポート (困った時に助けを求め、気持ちを伝える練習)</li> </ul>		
運動・感覚	<p>子どもたちが遊びを楽しみながら運動能力や感覚を育み、日常生活の動作や姿勢を安定させ、自信に繋がれるよう支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールを投げる、キャッチする、蹴る (ボール遊び、ドッジボール)</li> <li>・腕や足を鍛える動き (鉄棒、タオル綱引き、平均台)</li> <li>・姿勢の保持を意識するトレーニング (ストレッチ、ヨガ、ツイスターゲーム、バランスボール)</li> <li>・さまざまな素材に触れる活動 (砂遊び、水遊び、粘土、スライム)</li> <li>・感触の違いを楽しむ (ふわふわ、ザラザラ、ツルツル、サラサラなど)</li> </ul>		

本人支援	認知・行動	子どもたちが楽しみながら認知行動を学び、日常生活で実践できるよう支援していきます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・カード遊び（神経衰弱、絵合わせ）でワーキングメモリを強化</li> <li>・間違い探しやパズル遊びで観察力・集中力を高める</li> <li>・ブロックや積み木で形の認識や空間把握力を育む</li> <li>・視覚的スケジュール（絵カードやタイマー）で見通しを持たせる</li> <li>・「あと5分でおしまいね」などの予告で切り替えをスムーズに</li> <li>・感情カードや表情を使って「今の気持ちは？」と考え表現する練習</li> </ul>	
	言語 コミュニケーション	基本的なコミュニケーションの練習を通して、相手の言葉にしっかりと耳を傾け、自分の気持ちを適切に伝える力を養います。また、様々なやり取りを通して、相手の気持ちや立場を考えながら行動できるようサポートし、円滑なコミュニケーションに繋げていきます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おはよう」「ありがとう」「ごめんね」などの挨拶を習慣化</li> <li>・「〇〇が好き！」「〇〇したい！」と自分の気持ちを伝える練習</li> <li>・「この子はどんな気持ち？」と表情カードを見て考える練習</li> <li>・「悲しかった！」「嬉しかった！」「怒っている」などの感情を知り、表現する練習</li> <li>・ロールプレイ（お店屋さんごっこ、病院ごっこ）で会話のやりとりを体験</li> </ul>	
	人間関係 社会性	子どもたちが円滑な人間関係を築けるよう、コミュニケーションの基本や相手の気持ちを考える力を育みます。挨拶や会話のキャッチボール、チームで協力する活動を通して思いやりやルールを学び社会性を高められるよう支援します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おはよう」「ありがとう」「ごめんね」などの基本的なあいさつを練習</li> <li>・握手やお辞儀など、場面に応じた礼儀を学ぶ</li> <li>・目を見て話す、相手の話を聞く習慣をつける</li> <li>・ペアやグループでの遊びを取り入れ、協力する経験を増やす</li> <li>・「〇〇くんにボールを渡そう」など、自然なかかわり方を促す声かけ</li> <li>・みんなでひとつの作品を作る活動（大きな絵を描く、共同制作など）</li> </ul>	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方が安心して相談や要望を伝えられるような環境を整え寄せられた意見や申し入れには迅速に対応する体制を構築。</li> <li>・寄せられた要望を関係者間で共有し、早急に対応策を検討、実施する。</li> <li>・電話、メール、対面など家族の方が気軽に相談できる手段を複数用意。</li> <li>・食事や着替えの練習方法を伝え、無理なく習慣化できるよう支援</li> <li>・家庭と連携しながら、子どもの「できた！」を増やしていく</li> </ul>	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレや歯磨きの声掛けを徹底し習慣化する事で自宅でも自分から行えるよう練習を行う。</li> <li>・就学後に困らないために、靴下やボタンの着脱の練習を行う。また、正しい服の着脱（裏表や前後）も学ぶ。</li> <li>・外出時のルールを理解し危険予知能力を高める。</li> </ul>
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園など、地域の施設を訪れ、公共の場でのルールやマナーを学ぶ</li> <li>・消防署や警察署を訪問し、緊急時の対応や防災について学ぶ</li> <li>・防災訓練や地域安全活動に参加し、災害時の対応を学ぶ</li> <li>・SNSやホームページを活用し、支援の取り組みや子どもたちの成長の様子を発信</li> </ul>	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員同士で学び合う社内研修</li> <li>・外部研修への参加促進（発達障害、感覚統合、行動支援、虐待防止、家族支援など）。</li> <li>・「子どもと一緒に楽しむ」事を大切にする文化を作る（職員もイベントに積極参加）。</li> <li>・「支援のプロ」としての自覚を高め、専門性を深める環境を整備。</li> </ul>
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初詣・節分・花見・運動会・遠足・ハロウィン・クリスマス会・全事業所合同活動など</li> </ul>		